

令和3年度学校給食あり方検討会			
日時	令和4年3月23日(水)15:30 ~ 16:45		
場所	長崎市立図書館新興善メモリアルホール 会議室2		
出席者	学校給食あり方検討会委員		
	区分	委員名	団体
	保護者代表	松本 光生	長崎市 PTA 連合会
		田崎 飛鳥	
		林田 米蔵	
		大脇 俊明(欠席)	
		松尾 裕司	
	教育委員	小原 達朗	教育委員会
		桑原 亜矢子	
	学校教育関係者	野中 正樹	小学校校長会
		修行 勝則(欠席)	中学校校長会
		田下 一英	給食主任部会
内容	<p>事務局</p> <p>橋田教育長、西本教育総務部長、大塚学校教育部長、西田学校給食センター整備室長、井上健康教育課長、岡村健康教育課長補佐、井下学校給食係長、中川専門官、富山指導主事、田中主事、田崎</p> <p>1 長崎市北部学校給食センターの運営について 2 中部及び南部の学校給食センターについて 3 学校給食あり方検討会について</p>		
事務局	(教育長あいさつ)		
	(学校給食センター整備室長より「1 長崎市北部学校給食センターについて」資料説明)		
委員	適正な温度とは何度なのか。		
事務局	大量調理マニュアルにおいて、65℃以上、和え物は 10℃以下で管理することとなっている。		
委員	時間が短縮されたのに温度が下がっているのはなぜか。		
事務局	献立によっても温度に差があり、シチューなどの粘性のある献立は温度が高くなりにくい。 まだ食缶がアルミ製のままだが、今後ステンレス製に変更することにより温度は上がる。		

委員	娘が北部センターの給食を食べているが、美味しいと聞いている。混ぜご飯も提供されるようになり喜んでいいる。
委員	指定管理ではなく、PFI 事業で実施されているが、お玉やケースなどの改善は事業者側の負担で行うことになるのか。行政としては事業者に対してどの程度要求できるのか。
事務局	PFI の場合は性能発注となり、要求水準書の中で 65℃以上を保つことと示しており、これを達成するために食缶を買い替える費用については事業者の負担となる。また、達成するためのその他の改善方法については、事業者から提案を受けることになる。
委員	時間を短縮するためには人員や運送コストを増やす必要があるが、事業者に負担がかかるため、当初から盛り込んでおく必要がある。
事務局	2 時間以内の喫食や温度については、要求水準書に明確に記載している。市としては要求水準を達成するよう改善を求めていく。
委員	食缶サイズは大規模校と小規模校で分かれていたと思うが、共通サイズとはどういうことか。
事務局	小規模校はごく少数であり、ほとんどの学校が大規模校として 14L の食缶を使用していた。これを学級規模に合わせて 4、8、10、14L を入れる予定としている。
委員	スチームコンベクションオープン化はセンター化のメリットとして聞いていたが、今後も活用されないのか。
事務局	スチームコンベクションオープン化は揚げ物・蒸し物室にも設置しており、そちらは現在も使用して給食を提供している。この資料に記載しているのは和え物室に設置しているスチームコンベクションオープンであるが、和え物の食材は回転釜での調理も可能であり、効率性等も考え、食材により調理器具を選択することとしている。
委員	今年は積雪がなかったが、配送計画と実際の配送での誤差はどのような状況なのか。
事務局	数分の誤差はある。積雪や交通事情によるイレギュラー事態が生じた場合、配送遅延も想定されるので、そのようなときは事業者が学校に連絡を行うなど、適切に連携して対応したい。
委員	温かいものは熱すぎるぐらいでよい。夏場は食中毒の危険性もあるためきちんと改善していただきたい。
委員	小学校と中学校で献立が異なるのはなぜか。
事務局	北部センターは 2 献立制としており、ひとつの献立について曜日を入れ替えて A 献立・B 献立として提供している。A 献立の学校で月曜日に提供された献立が、B 献立の学校では火曜日に提供される。

委員	24 校を何台のトラックで配送しているのか。
事務局	14 台で配送している。まず食器を配送し、一旦センターに戻り、調理した給食を配送している。
委員	最大の改善策は、配送車の台数を増やすことではないか。
事務局	14 台に加えて予備車を 2 台用意しており、緊急時には活用することとしている。
委員	学校に聞いたところ、食缶はそこまで重くないとの声、温かくなった、味も良くなったという意見も聞いている。温度が高い場合は、検食の時に熱すぎたり、また児童生徒が火傷をしないか心配もある。適温での提供が望ましい。校長会としては特に意見はなかった。
委員	アレルギーの代替食は供用開始半年後から開始すると聞いていたが、今回のことで遅れることはないのか。また、保護者への案内はいつ頃から行えるのか。
事務局	令和 4 年度の 2 学期から代替食の提供を行う予定である。特に遅らせることは考えていない。
事務局	アレルギー対応のある児童生徒の保護者には、通常、給食実施の 1 ヶ月前には関係資料を提供している。9 月分の場合、夏休みを挟むため 7 月頃に案内する予定である。 (学校給食センター整備室長より「2 中部及び南部の学校給食センターについて」資料説明)
委員	各センターの配送校が最終形となるのは、いつ頃になる見込みなのか。
事務局	令和 16 年頃になる見込み。
委員	中部センターの完成に伴い北部センターの配送校が大きく変わるため、混乱がないようしっかり準備を行っていただきたい。
事務局	中部・南部のセンターの供用開始は 9 月となるため、夏休みを活用してトレーニングを行う。
委員	中部センターの供用開始後、北部センター配送校の一部が中部センター配送校へ変更になることで、配送時間が短縮されるのか。
事務局	北部センターは三重中や畝刈小、琴海方面の学校へ配送することになる。遠くの学校への配送が少なくなるため、時間短縮される。
事務局	中部センターの食数は 12000 食となる。多くの食数を決められた時間内で配送できるよう、しっかり計画を立てていきたい。

委員	機能性を理由として、和え物にスチームコンベクションオーブンを使用しないことはやめてほしい。美味しさを優先してほしい。
事務局	回転釜を使用して野菜を茹でた場合、既存給食施設では圧縮して水切りしているが、北部センターでは真空冷却器を使用しており、おいしく提供できるよう工夫をしている。今後もよりおいしく調理できるよう検討していく。
委員	食育に資する施設ということだが、具体的に北部センターをどのように活用する予定なのか。
事務局	社会科見学のコースに取り込むことを考えているが、現時点では給食提供の安定稼働を最優先としているため、詳細はこれから詰めることとなる。
事務局	社会科見学に加えて、センターの栄養教諭等が学校に出向いて授業を行う。
委員	北部センターに行きたい気持ちはあるが、行事もひっ迫している。給食センターの内容を紹介する動画等を配布していただけるとありがたい。
事務局	事業者が動画を作成している最中であるので、出来次第、学校に提供したい。
委員	動画については、幼稚園や保育園にも提供していただきたい。 (学校給食センター整備室長より3 学校給食あり方検討会について説明)
委員	今後のモニタリングの予定はどうなっているのか。
事務局	モニタリングについては今後も常時行っていく。アンケートについても必要に応じて実施していく。
事務局	新学期に向けて食缶の変更を行うので、各学校へアンケートを実施したい。